

# 平成25年度事業報告

## 1 研究テーマ

酒造用原料米の酒造適性に関する研究

## 2 研究の現況・進捗状況

### (1) 概要

酒米研究会は、原料米の酒造適性を総合的に研究すること及び当該酒造期に使用される原料米の性質をできるだけ早期に把握し、それぞれの原料米に適した酒造管理を行えるようにすることを目的としている。

主な活動は、酒米研究会総会及び酒米懇談会の開催並びに原料米の全国統一分析である。また、本会は酒類製造技術者のみならず、育種・栽培関係者、米に関する研究者等、広く酒米に関心を持つ者も会員として受け入れている。現在の会員構成は、263名の個人と4機関から成っている。

酒米懇談会(第37回、平成25年9月12日開催)においては、(2)口に掲げるように、5名の講師先生に、様々な観点から話題提供をお願いし、活発な意見交換がなされ、参加者にとって大きな収穫になった。

原料米の全国統一分析は、24年度産米について例年どおり行い、83品種、238点の原料米の分析値について、(3)刊行物の発行等に掲げる文書により、関係者に報告した。

平成25年度産米については、日本酒造組合中央会と酒類総合研究所が実施する早期(0次)酒造適性分析及び放射能分析のための試料として、酒類総合研究所に試料提供した。酒類総合研究所で実施された早期(0次)酒造適性分析の結果について、詳細な解析を行い本年度の原料米の酒造適性情報として12月2日付で各支部に報告した。また、各支部において分析が終了した結果について取りまとめ、第1次の速報として12月11日付で関係者に報告した。

### (2) 研究会開催等

イ 平成25年度酒米研究会総会、第39回酒米研究会

① 開催月日 平成25年5月21日(火)

② 開催場所 東広島市西条西本町28番6号

東広島市市民文化センター

③ 配布資料:平成24年度事業報告、平成24年度決算及び25年度予算案、  
平成24年度産米の分析結果及び平成25年度産米の分析計画等

ロ 第37回酒米懇談会

① 開催月日 平成25年9月12日(木)

② 開催場所 東京都北区西ヶ原1-23-3 滝野川会館 小ホール

③ 講演内容

1)「精白米の割れに関する調査結果報告」

新中野工業株式会社 小澤宏行 先生

2)「山田錦の酒造適性に及ぼす高温障害対策試験について」

兵庫県立農林水産技術センター 小河拓也 先生

3)「米粒組織と酒造適性」

賀茂鶴酒造株式会社 荒巻功 先生

4)「気候変動に強い良質米の安定栽培技術」

独)農研機構中央農業総合研究センター北陸研究センター 吉永悟志 先生

5)「温暖化や高CO<sub>2</sub>濃度による水田の微気象変化とコメ収量・品質への影響」

独)農業環境技術研究所 吉本真由美 先生

④ 出席者68名

### (3) 刊行物等の発行

- ・第37回酒米懇談会要旨集（平成25年9月）
- ・平成24年度酒造用原料米全国統一分析結果（平成25年6月）
- ・平成25年度早期酒造用原料米全国統一分析解析結果（0次）（平成25年12月2日）
- ・平成25年度酒造用原料米全国統一分析結果（1次）（平成25年12月11日）

### (4) 研究連絡活動

#### (4-1)原料米全国統一分析

##### イ 研究会支部の状況

原料米全国統一分析に参加しているグループ数は、平成25年11月末現在で、試料の採取を依頼している機関を含めて29機関である。

##### ロ 平成24年度産米の分析

平成25年1月～3月の間に、前年から引続き平成24年度産米の分析を行い、83品種238点についての分析結果を集計し、平成25年6月14日付で日本酒造組合中央会 会長及び分析を担当した各支部に報告した。

##### ハ 平成25年度産米の分析

###### ① 早期分析(0次分析)及び放射能分析

平成25年度産米の早期酒造適性分析及び放射能分析のための試料を酒類総合研究所に提供した(62点)。日本酒造組合中央会と酒類総合研究所との共同研究により実施された酒造適性分析のデータ及び各支部からの造り初期の酒造概況、気象・収穫に関するデータを詳細に解析し、平成25年度産米の性質の早期予測(0次)として平成25年12月2日付で関係者及び各支部に報告した。あわせて、放射能分析の結果についても各支部に報告した。

###### ② 1次分析

平成25年度産米については、12月初めまでに分析の終了した原料米について結果をまとめ、0次分析結果と合わせ平成25年度産原料米の性質を予報し、平成25年12月11日付で関係者及び各支部に報告した。

###### ③ 2次分析

2次分析については現在継続中である。

#### (4-2)ホームページ

酒米研究会ホームページ(<http://www.sakamai.jp/>)において、平成25年度の酒米分析のデータ及び結果概要を加え更新し、会員間で有効に活用された。